

建設水道常任委員会記録

令和6年8月1日（木）午前10時00分～午前11時13分（9階909会議室）

○出席委員（8名）

委員長	沢井 和宏
副委員長	石山 波恵
委員	三浦由美子
委員	斎藤 正臣
委員	小松 良行
委員	小野 京子
委員	尾形 武
委員	黒沢 仁

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案 件

所管事務調査「市営住宅の今後の在り方に関する調査」

- 1 委員長報告のまとめについて
- 2 その他

午前10時00分 開 議

（沢井和宏委員長）ただいまから建設水道常任委員会を開会いたします。

初めに、委員長報告のまとめについてを議題といたします。

前回の委員会では、政策討論会で出されたご意見、要望等について、委員長報告へ盛り込む内容をご協議いただきました。ご協議いただいた結果を基に、正副手元で骨子を見え消し修正したものと委員長報告の素案を作成いたしましたので、本日はその内容について協議したいと思います。

それではまず、資料の見え消し修正、8月1日、骨子、見え消し修正を開いていただきたいと思います。では、私のほうから説明を申し上げます。前回の協議結果により、骨子の内容に新たに追加または文言等を修正した部分については赤い文字で黄色マーカーにしており、削除した部分については

見え消しにしております。また、水色マーカーの部分については、素案の作成にあたって改めて整理した部分になります。

まず、1ページからいきます。1ページの(2)の水色の部分ではありますが、予定どおりのスケジュールで進めば、委員会の開催数が合計で15回となるため修正したのですが、今後の開催数の増減に合わせて適宜変更したいと思います。

次に、同じく(2)の⑥、そこに、黄色い部分ではありますが、調査の一環として政策討論会を開催した旨、追加しております。

次に、大項目の2番ですが、別の政策討論会で出されたご意見、ご要望の9番に対する検討結果を基に、国が定める公営住宅制度の概要についてといったタイトルに変更させていただきました。

次に、2ページ、大項目3番目の下から2行目ですが、一覧中の10番の意見を踏まえて、非正規雇用という状況に置かれてきたという表現に修正いたしました。

次に、大項目4の(1)の①、水色のマーカーの部分ですけれども、政策空き家を除き、管理戸数3,535戸と記載していましたが、3ページの(2)の①の2段目、現計画ではの中で令和5年度目標値を3,810戸としており、こちらは政策空き家を含んだ管理戸数となっていることから、一見、目標値の戸数が増えているように見えてしまっております。そのため、管理戸数は4,097戸、実質管理戸数は3,535戸と区別する表現に修正をいたしました。

次に、2ページの(1)の①、黄色い部分ですが、一覧の11番の意見に対しまして、空き住戸となっている3割のうち、災害時等ストックが確保されているということを追加したものであります。

次に、6ページまで行きます。提言(3)に移りまして、これは先ほどの一覧の10番の非正規雇用という状況に置かれてきたと修正しました。

同じページの提言①ですが、一覧の13番の意見に対して、一層推進しつつ、事業実施効果についても、十分な検証を行うべきとすることで、推進と検証を並行して実施する表現に修正しております。

次に、7ページ、提言の背景③ですが、一覧の4番の意見に対するもので、指定管理者制度導入を一つの契機として、市として計画策定や企画立案などに傾注することで、住環境の整備につながることを追記しております。

その下の④は、番号ずれと文言修正で、④の参考人による見解で、気づきにくなり、ともにではなくて、なりというふうに修正させていただきました。

次、8ページに行きまして、同じく(4)の下のところ、非正規雇用という状況に置かれてきたということです。

それから、②、そこは水色の部分ですが、高齢単身者の生活困窮の深刻化への対策として、若年層への早期支援が必要であることがより分かりやすいように文章の見直しをいたしまして、そのように生活困窮の深刻化への予防措置として、若年層の段階から入居枠を拡大するなど、早期支援を行うべきというふうに文言を整理しました。

その下、提言③であります、資料のほうの6番のご意見を踏まえて、県と連携を主眼にした提言に整理しました。

そして、その③の後段部分を提言④といたしまして、これは多くの意見が出た中で、3番と8番、バリアフリーや住環境の整備といった観点でまとめ、浴槽及びエアコン設備について検討し、住環境の充実を図るべきといった文章を追加しております。

次に、9ページですが、提言の背景①は、資料一覧のうち5番の意見を踏まえ、新婚、子育て世帯とそうでない住宅確保を必要とする世帯、それぞれに対する入居期間への考え方が判別できるような表現にしております。

次に、10ページの黄色い部分であります、本市の現状と同様、一覧11番の意見に対し、空き住戸となっている3割に災害時等ストックが確保されているということを追加したものです。

最後の11ページ、大項目7番の終わりにであります、文章を整理し、文章が長いことから、今年度末策定予定のを削除いたしました。

以上が骨子の修正部分であります、これらを踏まえて委員長報告案を作成しております。皆様にはこれから委員長報告案を確認していただき、それに対する協議を行いたいと思いますが、まずはこの骨子の部分の修正内容について、よろしいでしょうか。ご意見がある場合はお述べください。

(小松良行委員) 全て網羅されているので、私はこれで結構だと思います。グッジョブ。

(尾形 武委員) 指定管理者によって小修繕という言葉があったのですけれども、小さい修繕、これ少ない修繕ではないのかなと思うのだ。

(沢井和宏委員長) 何ページですか。

(黒沢 仁委員) 7ページ。

(沢井和宏委員長) 7ページの多様化する問合せ対応や小修繕。

(黒沢 仁委員) どっちとも取られるな。小さい、少ない。

(尾形 武委員) 小修繕という言葉はないのではないかな。

(小松良行委員) これは小さいでしょう。

(斎藤正臣委員) いや、でもありますね。小さいでした。少ないではなくてね。

(小松良行委員) うん。あるいは、省エネの省という字を使う場合もあるかもしれないけれども、これは小さいでしょう。

(沢井和宏委員長) 小修繕。分かりやすくもう少し入れますか。多様化する問合せや……

(黒沢 仁委員) これは小でいい。大小だから、小だよ、これは。

(斎藤正臣委員) 大修繕という言葉もあるみたいなので、それに対応して小さいでいいと思います。

(沢井和宏委員長) 大丈夫ですか。

(小松良行委員) 大丈夫。委員長報告はまた別だから、ここは我々のまとめだから。いいのではないかな。

(沢井和宏委員長) よろしいですか。

【「はい」と呼ぶ者あり】

(沢井和宏委員長) では、このように骨子はいたします。

それでは次に、委員長報告案の内容についてご確認いただき、協議に移りたいと思います。

なお、協議にあたっては、委員の皆様にご議論を深めていただくため、自由協議の形式で行いたいと思いますが、何かご意見はございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(沢井和宏委員長) それでは、そのように進めさせていただきます。

それでは、これより自由協議に移り、その中で委員長報告案の黙読の時間も取りたいと思います。自由協議中、発言許可は不要ですので、自由にご発言をいただきたいと思います。

それでは、録音を停止してください。

【この間自由協議】

(沢井和宏委員長) 自由協議を終結いたします。録音を再開してください。

ご意見ありがとうございました。

それでは、もう一度確認しますと、今ほどご協議いただきましたとおり、2ページの18行目、高齢者の生活困窮などにより、などを入れます。

あとは、4ページのD B Oについては説明を加えます。

さらに、6ページでは23行目、次のような多様なを入れます。

7ページ1行目、例えばを入れます。

このぐらいかな。

(石山波恵委員) 8ページ、確保するなど。

(沢井和宏委員長) 2行目、確保するなど、用途により。

この5か所の訂正をして、5日の8時半までにデータをアップしたいと思います。

(石山波恵委員) 一番最初の2ページ目頭の斎藤委員が言った政策討論会の部分の変更も。

(沢井和宏委員長) 1つ抜けました。

(石山波恵委員) そこの文章を差し替えるということですね。

(沢井和宏委員長) これを差し替えます。

(石山波恵委員) あとはそれだけです。

(沢井和宏委員長) 6か所です。6か所を訂正いたします。

20日まで各会派の意見を集約して、そこで終結できれば20日の会議は開かないということですね。

それでは、ただいまの委員長報告につきまして、各会派において調整をお願いします。20日までご報告いただきたいと思います。

(尾形 武委員) 20日まででいいのか。

(石山波恵委員) 9日まで。

(黒沢 仁委員) 9日までと言った。お盆前と言った。

(石山波恵委員) 9日の金曜日までですね。

(小野京子委員) 金曜、9日までだね。8月9日まで。

(石山波恵委員) 会派に説明して。

(沢井和宏委員長) もう一度確認いたします。では、議員の皆様にお示しする当座の資料としましては、見え消しの委員長報告骨子と、あと委員長報告案を当座提示いたしまして、20日以降、正式な委員長報告を提示したいと思います。

もう一つ、委員会閉会后、事務局において会派確認用というフォルダーを新たに作成して、そこに各資料を入れておきたいと思いますので、各議員の方にお知らせ願いたいと思います。

共産党さんにおいては、私より委員会での検討結果をお伝えして、調整をお願いし、結果の確認まで全て行いたいと思いますので、よろしくお願いします。

正副委員長からは以上でございますが、皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(沢井和宏委員長) なければ、以上で建設水道常任委員会を閉会いたします。

午前11時13分 散 会

建設水道常任委員長

沢 井 和 宏